

平成 31 年度賀来小中学校の学校経営について

(1) 経営の理念

- 「意思疎通」を図り、組織的な取組による、子どもの「できた、わかった」のもと、成果を結果に繋がります。
- 「5つの願い①子ども中心②保護者・地域の幅広い声をしっかり聞く③危機管理④風通しの良い職場⑤綱紀粛正」のもと、責任ある行動です。

(2) 学校教育目標の策定

やさしく、かしこく、たくましく、
夢の実現へ成長する子どもの育成

- 新学習指導要領の実施に伴い、子どもの姿から各教科等の指導を通して育成する資質・能力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を踏まえ、また、本市の目指す「確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成し、自ら学び、自ら考えるなどの生きる力を育む学校教育」を柱に、「学校の教育目標を明確にして」実質化、実効性のあるものとして機能させます。

本校では、特に「やさしく（徳）」を一番目に掲げ、学校が子どもの「居場所」と「絆」をつくり、喫緊の課題とする、「いじめ対策・不登校支援」「特別な配慮を必要とする子どもへの対応」を目指すものです。

(3) 学校経営の重点

- ①「やさしく」～豊かな心の育成～
- ②「かしこく」～確かな学力の育成～
- ③「たくましく」～健やかな体の育成～

(4) 学校の経営計画

- 本年度の学校経営の重点から、「取組項目」(重点的取組等)を設定し、達成指標及び具体的な取組の指標(取組指標)について、短期(学期1回)の検証・改善サイクルで目標達成を目指します。

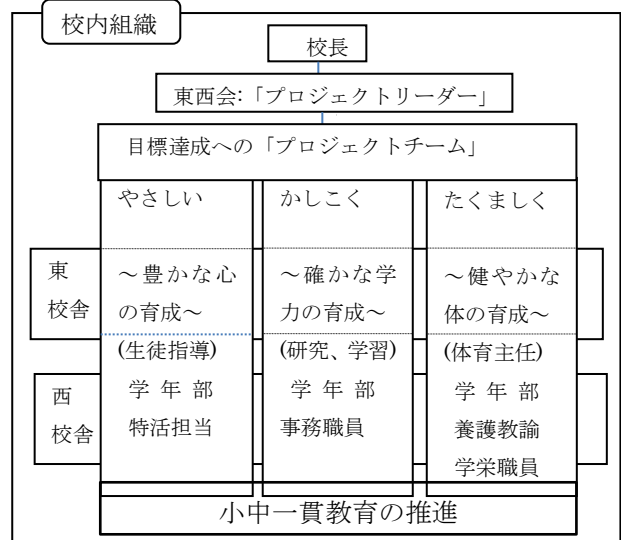
【取組項目】

- 「やさしく」
- ・あいさつの徹底、規範意識を育成する
 - ・「居場所」と「絆」づくりの取組を行う
- 「かしこく」
- ・新大分スタンダードを意識した授業を実施する
 - ・「チャレンジ学習」等の実施により、学習の定着を図る
- 「たくましく」
- ・一校一実践による体力アップを図る

- ・生活習慣の改善と意識の高揚を図る

- 「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上:重点目標を、3つのプロジェクトチーム「やさしく、かしこく、たくましく」により、達成を目指します。

【目標達成の学校運営組織】



※東校舎(1～4年生)西校舎(5～9年生)

○目標達成の学校運営組織

- ・東西会:校長、小中教頭、小中教務主任
- ・「プロジェクトチーム」構想は、校務分掌(特別活動部、研究推進部・学習指導部、生活指導部・保体部)から中核となす人員の編制
- ・東西校舎、ML 育成の観点から選出
- ・進行管理は教務主任、プロジェクトリーダー

○学校一プロジェクト(分掌一学年・学級)一個人目標の連動

全職員が、学校の教育目標を理解し、各プロジェクトの取組や学年・学級経営、教科経営の具体を意識し、学校全体で情報を共有したうえで、チームとして機能するように、チームの一員としてそれぞれが個人目標(目標管理シート)を作成・実行できるように、各目標等を「見える化」した「賀来小中学校マネジメントツール」を作成しました。

○検証・改善

作成した「賀来小中学校マネジメントツール」の実施状況について、各プロジェクトリーダーを中心に、チーム会議や企画委員会で、実践を交流し推進していきます。各学期末には、取組状況の確認と達成状況の確認を行い、エビデンス(数値等の結果)をもとに、取組指標の向上・変更、重点的取組の深掘り・見直し等を行います。また、三者(児童生徒・保護者・教職員)による学校評価をもとに検証・改善を行います。